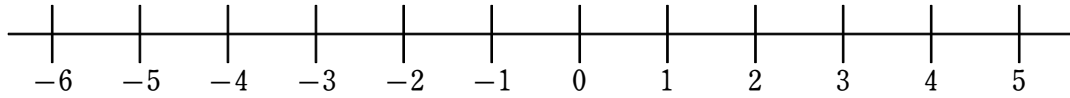


演習問題

1 次の数を求めよう。(ヒント: 数直線を使って考えよう。)



- (1) -5 より3大きい数は -2 (2) -3 より5大きい数は 2 (3) 3 より6小さい数は -3
(4) -1 より4小さい数は -5 (5) 1 より -4 大きい数は -3 (6) -1 より -3 大きい数は -4
(7) 2 より -3 小さい数は 5 (8) -4 より -8 小さい数は 4

2 絶対値が2以下の整数をすべて答えよう。(5個)

-2 、 -1 、 0 、 1 、 2

3 絶対値が2以上5以下の整数はいくつありますか。

-5 -4 -3 -2 2 3 4 5 なので

8 個

4 次の□に不等号を書き入れて、2数の大小を表そう。

- (1) -0.01 $\boxed{>}$ -0.1 (2) $-\frac{1}{2}$ $\boxed{<}$ $-\frac{1}{3}$

5 次の数を、小さい方から順に並べよう。また、絶対値の小さい方から順に並べよう。

-0.5 0.2 -1.2 0 $\frac{3}{5}$ $-\frac{8}{5}$

小さい順: $-\frac{5}{8}$ 、 -1.2 、 -0.5 、 0 、 0.2 、 $\frac{3}{5}$

絶対値の小さい順: 0 、 0.2 、 -0.5 、 $\frac{3}{5}$ 、 -1.2 、 $-\frac{8}{5}$